

令和6年度 事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

NPO 法人 AL FIORE

1 事業の成果

当年度は利用児童14名に対し、一人ひとりの特性と課題に応じた個別支援計画を作成し、計画的な療育支援を実施した。

具体的な成長事例

自立度の向上 身辺自立が困難だった児童に対し、段階的な支援プログラムを実施した結果、身の回りの整頓や食事準備などの基本的な生活動作を自分で行えるようになった。

学習面での進歩 学習意欲が低く宿題に取り組むことが困難だった児童に対し、個別学習支援を継続して実施した。その結果、集中して学習に取り組む時間が延び、宿題を最後まで完了できる回数が増加した。

対人関係の改善 一人で過ごすことが多かった児童に対し、職員が仲介役となりながら小集団での活動機会を段階的に増やした。現在では自分から友だちに声をかけ、一緒に遊ぶ姿が日常的に見られるようになっている。

今年度の課題

支援体制の充実 児童の多様化するニーズに適切に対応するため、職員のさらなる専門性向上が必要である。発達特性の理解、個別支援技法、行動分析などの専門知識の習得に加え、実践的な支援スキルの向上を図る必要がある。また、定期的な研修参加や事例検討会の実施を通じて、職員全体の資質向上と支援の質の統一を目指すことが重要である。

保護者との連携強化 家庭と事業所での支援内容を統一し、児童の成長をより効果的に促すため、保護者との定期的な情報交換や相談体制の見直しが求められる。

地域との連携拡充 学校や医療機関、相談支援事業所等との連携をさらに密にし、児童を取り巻く支援ネットワークの構築と情報共有の仕組みづくりが課題である。

今後の取り組み 来年度はこれらの成果と課題を踏まえ、より質の高いサービス提供を目指していく。特に、個別支援計画の定期的な見直しと評価システムの充実、保護者との連携強化、地域の関係機関との協力体制の構築に重点を置き、大野城市の地域に根ざした放課後等デイサービスとして、利用児童一人ひとりの成長と発達を継続的に支援していく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲 及び 人数	事業費の 金額 (千円)
児童福祉法に基づく障害児通所支援事業	学校の授業終了後又は休業日に支援が必要な障害のある児童・生徒や発達に特性のあるお子さんのための放課後等デイサービス事業を行った。	通年	大野城市内の法人事業所	4人	大野城市及び他市町の受給者証を持っている児童 契約児童数 14人 延べ807人	10,369
児童福祉法に基づく児童福祉施設の運営	実施しなかった。					
児童福祉法に基づく障害児相談支援事業	実施しなかった。					
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく特定相談支援事業	実施しなかった。					
障がい福祉とインクルーシブ教育への理解を促進するための普及啓発事業	実施しなかった。					

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	事業費の 金額 (千円)
物品販売事業	実施しなかった。				